

No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助金額 (円)	事業の概要		複数年 継続事業	事業評価
1	白石市	白石城開門30周年 事業	白石市	18,205,000	4,757,000	目的	令和7年度に白石城は開門から30周年の節目を迎えることから、全国でも稀な木造による史実に忠実な復元を果たした白石城をPRするとともに、本市のシンボルである「白石城」の魅力を市民に再認識させて、まちへの誇りと愛着を持つシビックプライドの醸成へとつなげること、あわせて30周年を契機として県内のみならず全国レベルでの認知度向上を目指し関係・交流人口の拡大につなげることを目的とする。		本事業は、令和7年に白石城の開門30周年を迎えるに当たって、記念イベントを催し、地域文化財の価値の再認識及び地域資源を活用した地域経済の活性化を目的とした事業である。 ・市のシンボルである白石城を会場に、プロジェクションマッピングや市に所縁のあるパフォーマーによるステージイベントが行われるほか、白石市のみならず仙南地域の食材を使った料理やお酒を提供することで、仙南地域の食文化の発信にもつながる点において、市の創意・工夫が認められる。 ・また、毎年開催している「鬼小十郎まつり」の翌日に開催することで、訪れた観光客の市内宿泊や周遊等も見込まれること、白石城開門30周年を迎える令和7年に開催することで、効果的に市の歴史・文化を発信し、また市民にとっても、地域の歴史に触れ、愛着を育む機会となることから、有効性・効率性が認められる。 以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。
						内容	・白石城壁面にプロジェクションマッピングの投影 ・市に所縁のあるアーティスト等によるステージイベントの実施 ・仙南地域の食材を使用した料理やお酒等の提供できるフードマルシェの開催 上記の取組を一体的に実施し、歴史・食文化・芸術など地域の特性を活かしたイベントを実施することで、白石城を中心とした白石市の魅力を再認識させ、シビックプライド醸成につなげるもの。		
2	富谷市	全国発酵食品サミット 実行委員会補助金	富谷市	15,097,000	7,548,000	目的	本市では、本市の起源である宿場町・しんまち地区の交流人口拡大を進めている。その取組の一環として、宿場町の基幹産業であった発酵をテーマに、国の補助金や交付金を活用し、宮城の大豆文化の研究や大豆をはじめとする発酵食品の開発など、「発酵のまちづくり」を進めている。令和7年度には、「全国発酵食品サミット」を本市で開催し、全国に本市の取組や、宮城県の地場産品のPRすることで、「発酵のまちづくり」をさらに加速させることを目指す。		本事業は、全国発酵のまちづくりネットワーク協議会に加入する市町村において毎年開催している「全国発酵食品サミット」を令和7年に富谷市で開催することにより、富谷市の歴史等を踏まえた「発酵のまちづくり」を加速させることを目的とした事業である。 ・本事業は、これまで、しんまち活性化プロジェクトとして積み上げてきた実績や知見に基づき、しんまち地区だけでなく、市全体での取組みとして広く展開していくために、宿場町の基幹産業であった「発酵」をテーマに地域振興と観光振興を目指すこととしており、モデル的取組であると認められる。 ・富谷市はこれまでも、市民・宮城大学と連携し、「しんまち活性化プロジェクト」を進めており、今回のイベント実施に当たっても、実行委員会にまちづくり協議会や大学、NPO法人、地元企業等が参画することから、イベント運営に対し地域住民の声を反映できる体制となっており、住民参加によるまちづくりと認められる。 ・また、市は国の交付金を活用したR7～R9に実施する予定の「発酵のまちづくりプロジェクト」と一体的に推進することができることから、本事業には有効性・効率性が認められる。 以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。
						内容	・全国発酵食品ネットワーク協議会に加盟する全国の自治体が持ち回りで開催する「全国発酵食品サミット」の開催 ・サミット開催に向け、R7.6～10月にプレイベントの開催 全国に広く本市及び宮城県の食文化をPRし、地域のブランディングと交流人口の拡大のため、ネットワーク加盟自治体に加え、参画企業と連携した上記イベントを開催することで、サミットを契機として「発酵のまちづくり」を進め、しんまち地区のさらなる活性化に加え、地域経済の観光型によるエコシステムを推進する。		
				33,302,000	12,305,000				